

## 第2回

# 小諸市の自治基本条例をつくる 市民会議

テーマ

小諸市民の幸せのために誰が何をすべきか？  
～市民・議会・市長・行政の役割とは～

日時：平成20年8月12日(火)18時30分～ 於：コミュニティセンター 3階会議室

## 第2回 市民会議のプログラム

1. 第1回市民会議の報告

2. 本日の会議の進め方

3. ワークショップ

「市民の幸せのために誰が何をすべきか？」

- 市民・議会・市長・行政の役割とは -

\* 3班に分かれて小グループ検討

\* 検討結果の共有

### 3.市民会議のテーマと開催予定(案)

開催日・時間：毎月第2水曜の18:30～20:30

- |       |  |          |
|-------|--|----------|
| 第1回   | 小諸市の自治について改めて考えよう                        | 7/9(水)   |
| ▶ 第2回 | 市民の幸せのために誰が何をすべきか？<br>－市民・議会・市長・行政の役割とは－ | 8/12(火)  |
| 第3回   | 行政にはこうあって欲しい(行政の責務)                      | 9/10(水)  |
| 第4回   | 市長・議会にはこうあって欲しい(市長・議員・議会の責務)             | 10/8(水)  |
| 第5回   | 私たち市民はなにをすべきか？(市民の責務)                    | 11/12(水) |
| 第6回   | 情報公開・情報共有・情報交換は十分になされているだろうか             | 12/10(水) |
| 第7回   | 協働とは何か？どうやって進めたらよいだろうか？                  | 1/14(水)  |
| 第8回   | 自治についての話し合いを振り返る(議論のまとめ)                 | 2/10(火)  |

現時点での予定です。今後、変更する可能性があります。 3

## 第1回 小諸市の自治について改めて考えよう

- ・自治が根付いていると感じるところ
- ・新しい自治の芽生えを感じるころ
- ・自治がうまく機能していないと感じるところ
- ・自治が機能しない理由



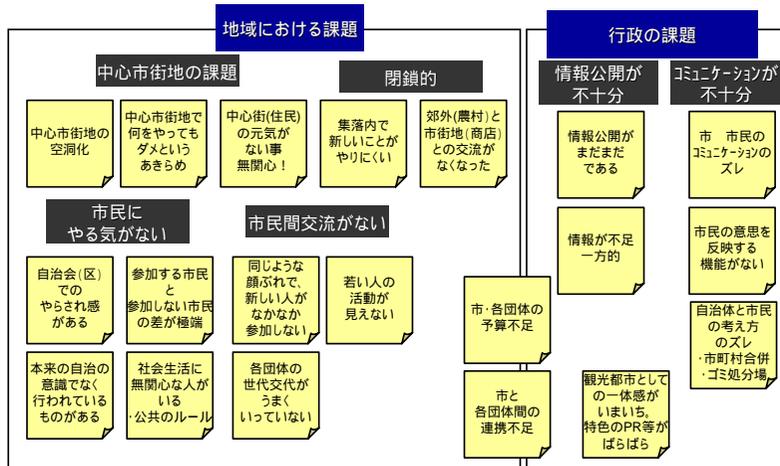
### ■ 参加人数 29人

1班・・・10人  
2班・・・9人  
3班・・・10人

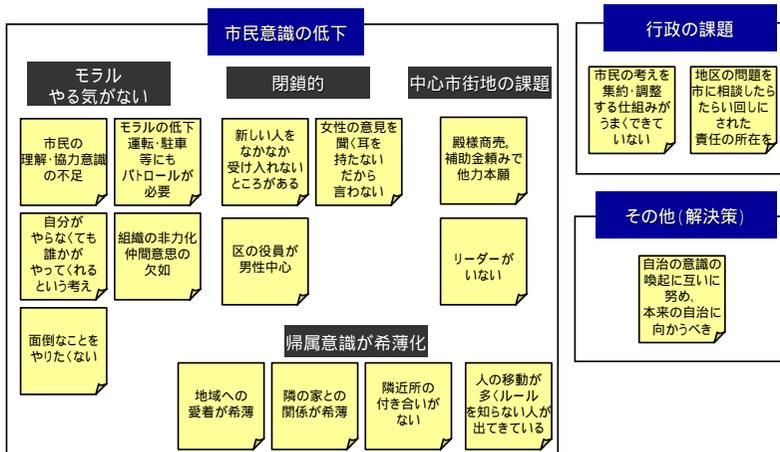
### ■ 総意見数 162

1班・・・63  
2班・・・56  
3班・・・43

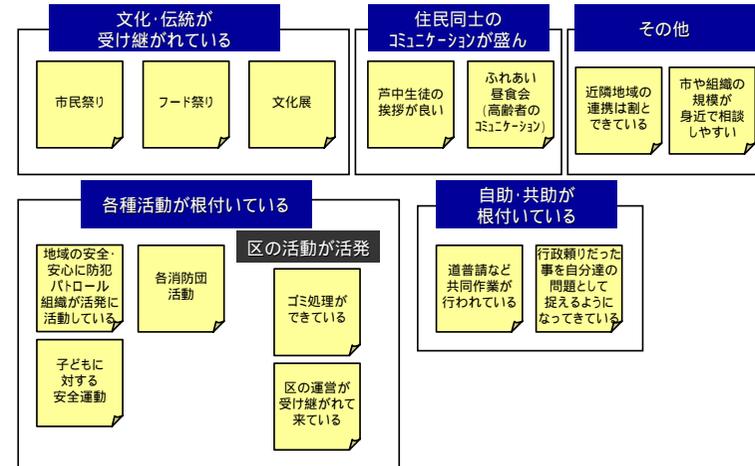
自治がうまく機能していないと感じるところ



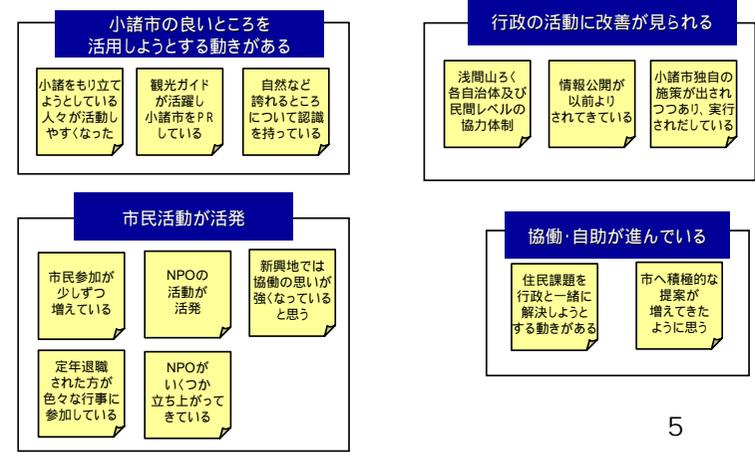
自治が機能しない理由



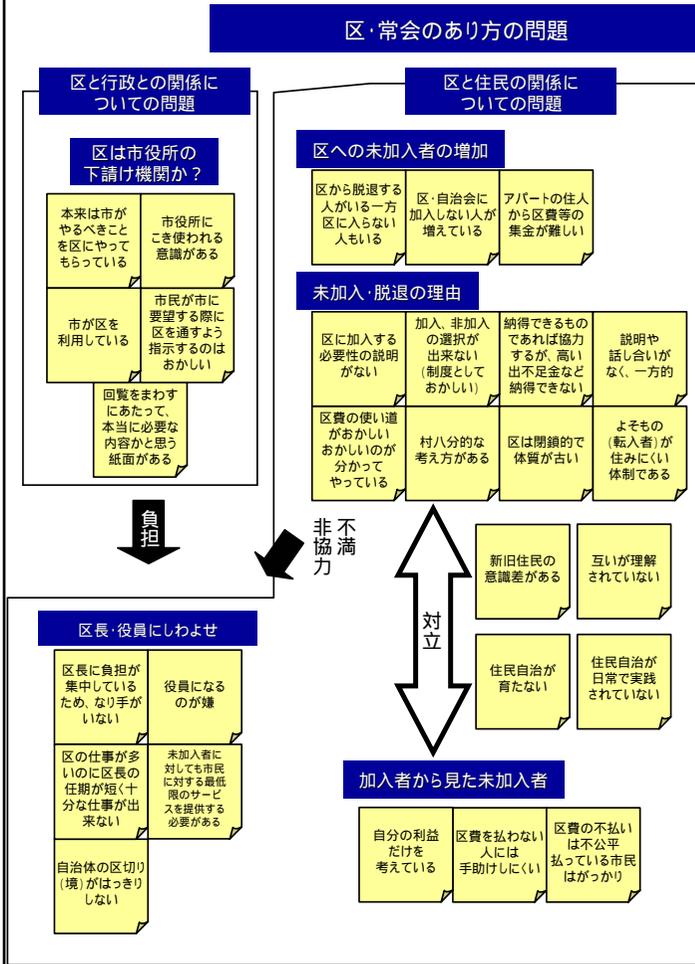
自治が根付いていると感じるところ



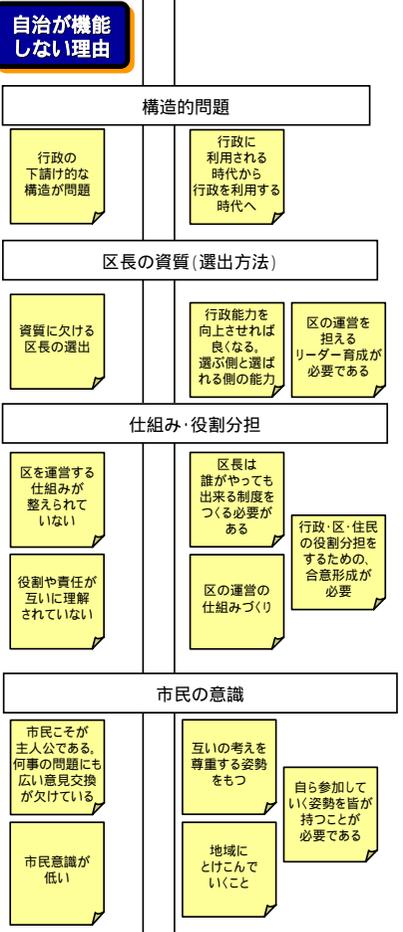
新しい自治の芽生えを感じる



自治がうまく機能していないと感じるところ



問題の原因 → 解決方向

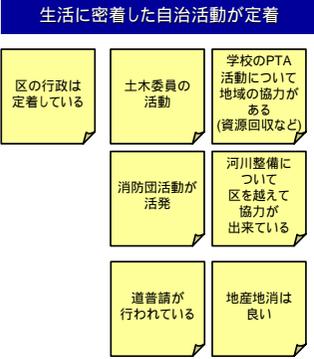


**自治とは**

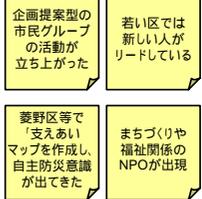
自分たちのことを自分たちで処理することが基本

各個人が自立し、互いを思いやり、社会生活をスムーズにすること

**自治が根付いていると感じるところ**



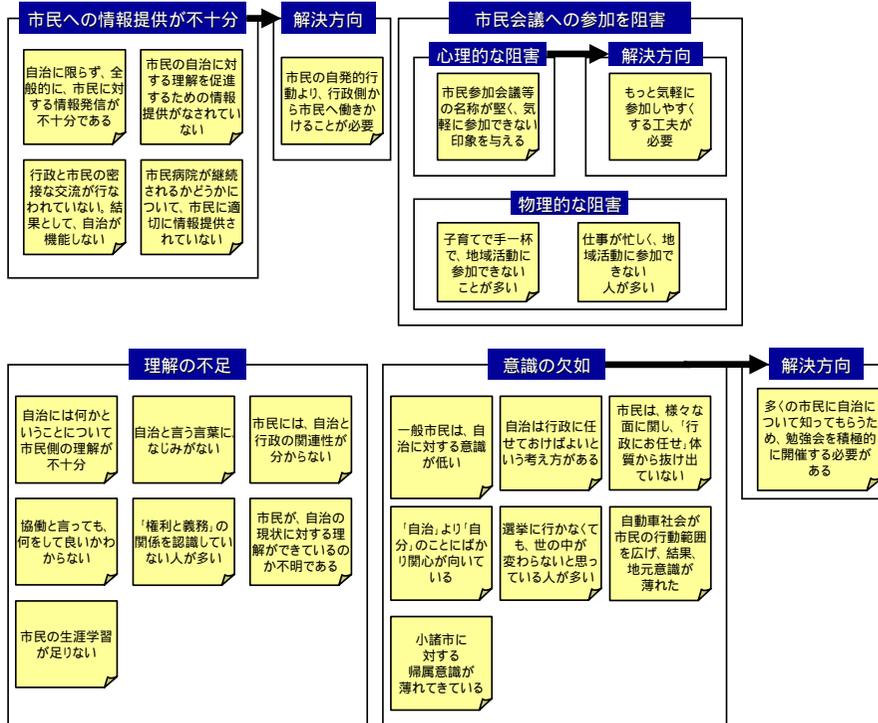
**新しい自治の芽生えを感じるところ**



自治がうまく機能していないと感じるところ

<p><b>施設機能の問題</b></p> <p>図書館が充実していない</p>	<p><b>コストの問題</b></p> <p>ゴミ捨てカレンダーが立派過ぎる。コスト削減できそう</p>	<p><b>防災の問題</b></p> <p>防災の取り組みが具体的でない</p>	<p><b>広域連合の問題</b></p> <p>広域連合を自治活動に活かされていない</p>	<p><b>市民活動の問題</b></p> <p>本会議のような場に参加する市民が少ない</p>
--	---	---	---	--

自治が機能しない理由



自治が根付いていると感じるところ

<p><b>選挙</b></p> <p>選挙の開票時間が早い</p> <p>選挙が着実に実施されている</p>	<p><b>自治会活動</b></p> <p>老人会活動が活発</p> <p>子ども会の活動が活発</p>
<p><b>ゴミ</b></p> <p>ゴミの分別が徹底されている</p> <p>一人当たりのゴミの量が少ない</p> <p>生ゴミを再利用している</p>	<p><b>納税</b></p> <p>納税義務を果たしている</p>
<p><b>情報提供</b></p> <p>回覧板をまわす活動が定着している</p> <p>会報・議会報告等が配布されている</p>	<p><b>防犯活動</b></p> <p>防犯ステッカーを貼った車が増えた(パトロール車)</p>

新しい自治の芽生えを感じる場所

<p><b>教育</b></p> <p>「こもろっし」など、子どもの教育が充実しつつある(一方で、大人になると小諸から離れる人もいる)</p>	<p><b>街づくり活動</b></p> <p>各地に街づくり、地域おこしのグループができています</p>
<p><b>伝統の維持</b></p> <p>伝統行事を地元で継承していこうという姿勢がある</p>	<p><b>まちの美化</b></p> <p>「タバコの吸殻をポイ捨てしない」や「まちなかをきれいにする」などの市民意識が出てきている</p>

## 第1回 市民会議の検討結果の要約

### 自治が根付いていると感じるところ

- 地区内の各種活動
  - 自治会活動、PTA活動
  - 消防団活動、防犯活動、道普請
- 継承されている文化や伝統
- 住民間のコミュニケーションの活発さ

### 自治がうまく機能していないと感じるところ

- 自分さえ良ければ良いと考える住民の増加
- 区・常会がうまく機能していない
  - 区が市の下請けのようになっている
  - 区活動に非協力的な住民、納得できない住民が増えた
  - 区長、役員のなり手がいない
- 行政が市民の考えを集約できていない

### 新しい自治の芽生えを感じる場所

- 活発な街づくり活動・市民活動
  - 各種グループによる活発な活動
  - 定年退職者、若い層の活躍
  - NPO活動の台頭
- 自助・協働が浸透し、住民が動き出した

### 自治が機能しない理由

- 市民のモラルが低下しているため
- 市民の地域への愛着が希薄なため
- 隣近所の付き合いをしない、閉鎖的な住民が増えたため
- 自治についての市民の理解が不十分なため
- 行政から市民への情報提供が不十分なため

自治とは、自分たちのことを自分たちで処理すること。  
自治を機能させるには、各個人が自立したうえで、互いを思いやることが大切

## 4.本日の会議の進め方

テーマ：「市民の幸せのために誰が何をすべきか？」  
～市民・議会・市長・行政の役割とは～」

- 目的： 自治の主体である“市民・議会・市長・行政”それぞれの担うべき役割について確認すること  
それぞれが担うべき役割を行う上での課題について確認すること
- 会議方法：ワークショップ



**ワークショップ【Work Shop】**  
= 多様な人が主体的に参加し、互いに影響を与えあうなかで、  
新しい創造と学習を生み出す方法

# ワークショップの進め方

- 参加者の持っている視点や考え方を共有することにより、自治の担い手それぞれの役割分担についての認識を深めます。

参加者の意見交換



視点・意見  
の整理

自治を担う各主体の役割

市民

役割

市長

役割

議会

役割

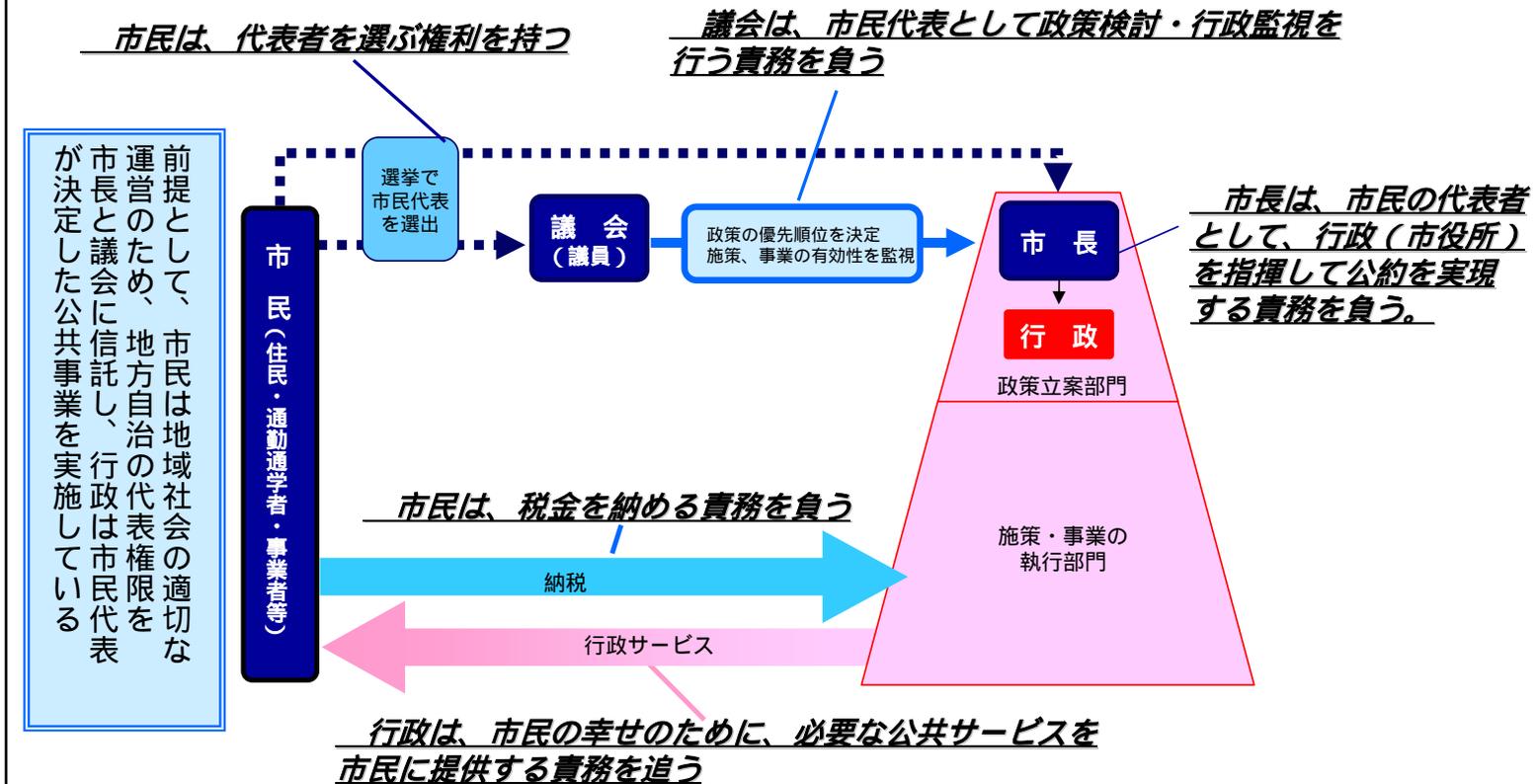
行政

役割

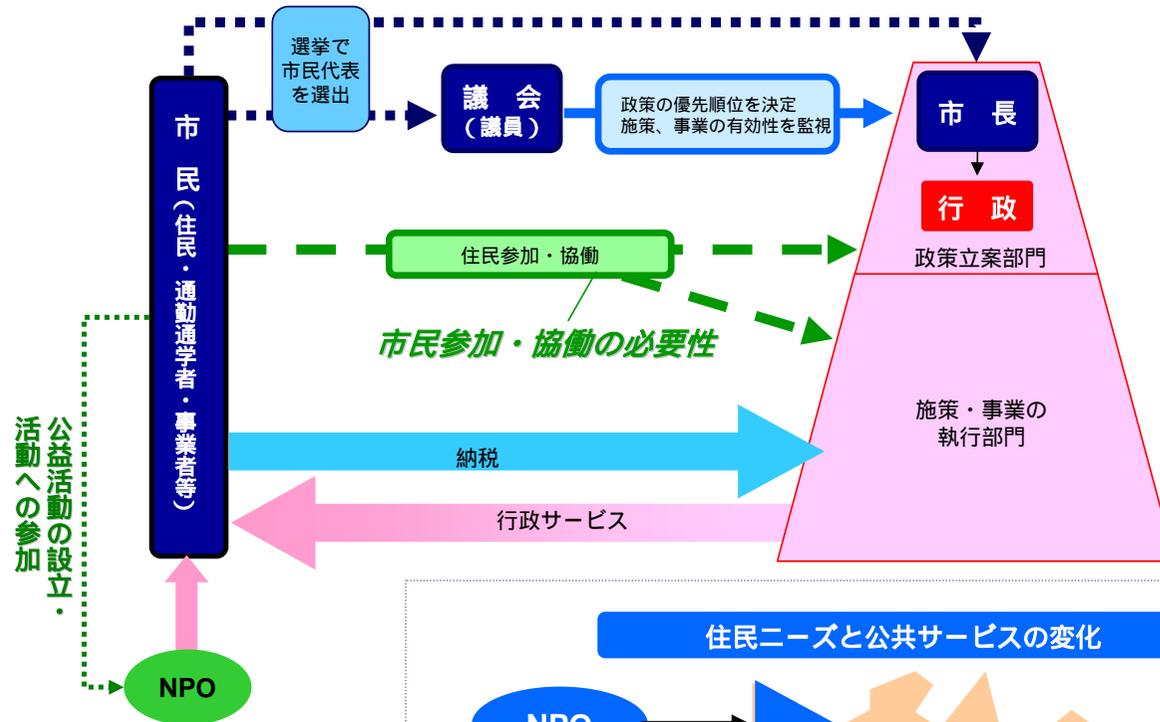
!

本日のワークショップは、参加者全員が意見を自由に伝えあい共有することにより、自治のルール(条例)づくりのヒントを得ることを目指しています。特定の答えを求める会議ではありません。

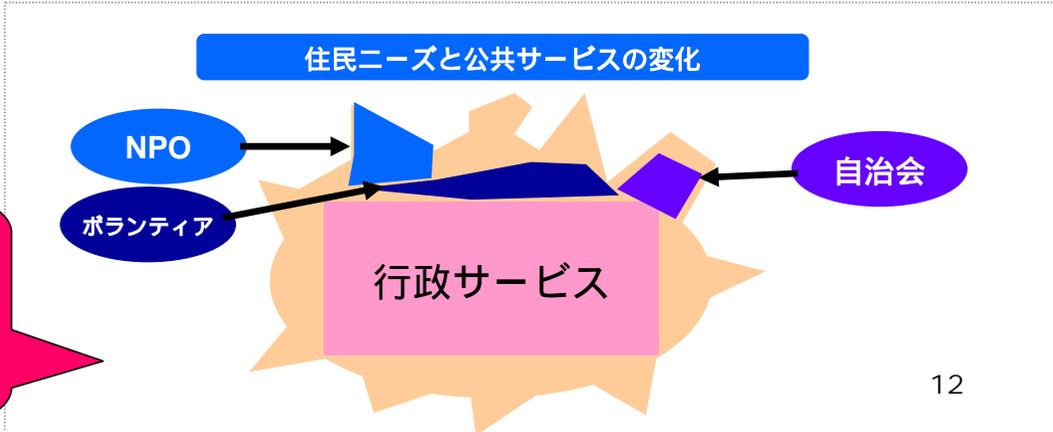
# 市民・議会・市長・行政の基本的な仕組み



# 市民・議会・市長・行政の基本的な仕組みと近年の動き



行政だけでは、住民ニーズに応えきれなくなっている。また、行政が行うべきサービスの範囲が難しくなっている。



## 具体的な検討テーマ

市民・議会・市長・行政のあるべき役割分担の姿を明らかにすることが今回のテーマですが、それぞれの基本的な役割は制度的に決まっています。そこで、もう一步テーマを絞り込み、最も問題になっている「行政と市民の役割分担をどうすれば良いか？」について、意見交換をしていただきます。

1 行政が担うべきか、市民が担うべきか、判断が難しい事業や取組み。また、違和感を感じている事業や取組み。



2 市民と行政との役割分担はどうあるべきだと考えるか。また、どのように決めるべきか？

狭い道路でも地域の基幹的な道路の雪かきは行政でやって欲しい

家の前の道路の動物の死骸の処理は、地元で行うべき

市民が少しの手間でできることは市民自身が行うべき

行政は、市民が生活するうえで必要な最小限の事業をすれば良い

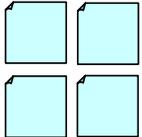
# テーブル・イメージ

ファシリテーター  
(SCOP)

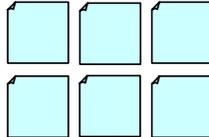
## 第2回 市民会議 「市民の幸せのために誰が何をすべきか？」 市民・議会・行政・市長の役割を確認するためのワークショップ

行政が担うべきか、市民が担うべきか、  
判断が難しい事業や取組み。また、違  
和感を感じている事業や取組み。

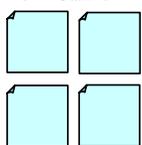
本来は市民が  
担うべき取組み



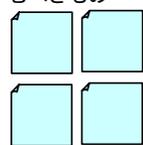
本来は行政が  
担うべき取組み



どちらとも言え  
ない取組み

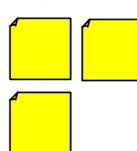


民間企業が取組  
むべきもの

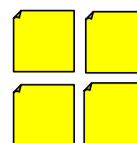


市民と行政との役割分担は  
どうあるべきだと考えるか。  
また、どのように決めるべきか？

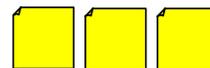
行政の役割



市民の役割



役割分担の決め方



## タイムテーブル

内 容	時 間	
ワークショップ 意見共有-意見整理-まとめ	18:55 ~ 20:15	80分
各グループの討議結果の報告と全体まとめ	20:15 ~ 20:30	15分
終了	20:30	

## ワークショップのルール

司会・進行はファシリテーター

意見を共有する姿勢で臨むこと

時間内でよい討論ができるよう、  
グループ全体で協力しあうこと

意見はふせん紙に書く